

# 教科ページの見方



◇右が「調査問題」、左が「授業改善」の見開き2ページで構成しています。

◇全国学力・学習状況調査及び山梨県学力把握調査から、一問取り上げ、授業改善例を作成しています。

◇問題を選んだ観点は、以下の4点です。

- ・ 解答類型（誤答）に特徴がある問題
- ・ 正答率が低い問題
- ・ 経年的に課題の見られる問題
- ・ メッセージ性のある問題

問題の背後にある、児童生徒に付けたい力を示しています。

**この力を付けたい！**

学力調査名・校種名・教科名を示しています。

## 問題解決の方法を 数学的に説明する力

全国学力・学習状況調査 ⑥ (2) の場合

正答例

<アを選択した場合>

冷蔵庫 B と冷蔵庫 C について、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の

正答（例）と特徴的な誤答（例）を示しています。

特徴的な誤答

・ 連立方程式をつくって考える。（解答類型B）

ここがつまずき！

・ 連立方程式を用いることのみを記述しており、「用い方」として「連立方程式を解いて、使用年数の値を求める」ことを記述していない。

誤答からわかる 生徒のつまずき

**ここがつまずき！**

誤答（例）から、推測される児童生徒のつまずきの様子を記述しています。

教科によっては、「この問題の特徴！」を示しています。

ページ下方の「日々の学習の改善・充実」へつながる内容です。

## 日々の学習の改善・充実

### 普段の学習で...

T：どうやって求めますか？  
その方法を説明してください。

S：式で求めます。

T：式とは、どのような式を用いますか？

S：連立方程式を用います。

T：では、その連立方程式の用い方をもう少し詳しく説明してみましょう。

S：連立方程式を解いて解を求めます。

生徒が自分の説明を振り返る場面をつくっていますか

T：その連立方程式を解いて求めた解は、何を表していますか？

S：使用年数と総費用です。

T：連立方程式を用いた場合の「用い方」をまとめると、「連立方程式を解いて、使用年数の値を求める」ということですね。

教師が問うことで子供の問う態度が育ちます

T：では、グラフを用いた場合について、「用い方」を考えてみましょう。

S：2つの直線を引けばいいね。

S：交点の座標を読み取ればいいね。

・ 方法や手順的確に発表したり記述したりする際には、「用いるもの」を明確にした上で「用い方」を表現することが大切です。

・ 問題解決の方法を説明することは、問題解決の見通しをたてたり、自分の考えを振り返ったりすることにつながるため、とても大切です。

## 日々の学習の改善・充実

学年・領域・内容・単元名等を示し、学校全体で授業改善を捉えられるように記述しています。

### 3学年の学習で...

### 普段の学習で...

教師の発問を具体的に示し、授業の一場面をイメージできるように記述しています。

「この力を付けたい」に対応し、日々の学習で「教師が意識すること」を示しています。

**教師が意識すること**

「用いるもの」と「用い方」を 動きを取り入れる！

教師が意識すること

児童生徒が自分の考えを文章や図に表す場面をつくっていますか

児童生徒が根拠や意味を考える場面をつくっていますか

友達の意見や考えを基に自分の考えを振り返る場面をつくっていますか

「教科・領域を問わず年間を通じて意識したい授業改善の視点」の3つのうち、いずれかを示しています。